京城日報
朝刊

上聞の榮　兩山本守備部隊

寡兵、反轉を掩護

ブナ、バサブア死守

陸軍省發表（昭和十八年二月十二日十六時）昭和十七年末「ニューギニヤ」島「スタンレー」山脈よりのわが軍反轉作戦に當り、寡兵克く後方基地を死守し、偉勳を樹てたる「ブナ」守備部隊及「バサブア」守備部隊に對し、さきに軍司令官より感状を授與せられしが、今般畏くも上聞に達せられたり

感状

「ブナ」守備部隊
（山本大佐の指揮する陸海軍部隊及安田部隊の一部を基幹とする部隊）

軍司令官　山本重省少將

兩部隊長進級

一般概況

山本常一中佐

感状

「バサブア」守備部隊
（山本部隊及同配屬部隊）

昭和十八年一月十一日
軍司令官

兩部隊長略歷

山本重省少將　山本常一中佐

全重火器、火砲盡く

手兵提げ突撃玉碎

「ブナ」守備部隊

「バサブア」守備部隊

悲壯「病兵、軍夫の隊」

牛島軍夫勇戰す

高砂義勇隊も奮戰活躍

在亞帝國權益、利益

瑞西政府で代表

外務當局談

三百六十億に決定

必成、一日一億の貯蓄

情報局發表（十二日午後三時）昭和十九年度國民貯蓄增加目標額に關する件

手持現金を吸收

目標十億圓を增加

賀屋藏相談

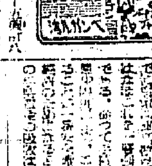
昭和十三年度	八十億圓
十四年度	百億圓
十五年度	百二十億圓
十六年度	百七十億圓
十七年度	二百三十億圓
十八年度	二百七十億圓
十九年度	三百六十億圓

大型輸送船を大破

海鷲、長驅カルカッタ方面急襲

敵敗走の群へ巨彈

戰鬪機八機も擊墜す



巡洋艦驅逐艦を擊退

マーシャルに　敵の侵攻愈々熾烈

八船を擊沈破

ニューギニヤ　トロキナ方面

アラスカ港灣　設工事完成か

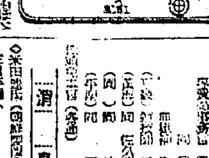
重慶政權　成都へ移轉か

内閣嘱託　栗林商船社長

朝鮮救護令制定

令案決る

國民決定事項（十二日）



消息

總督府辭令（十日）

下志津飛行學校長　服部武士少將

陸軍省發表（二月十二日）

内政部長會議

廿八日から開催

社説

謀略宣傳を厳戒せよ

寫眞は總力戰の新兵器
小西六寫眞工業株式會社

支那民事慣習調査報告（上）
大東亞資料總覽
支那古代神話
支那法の根本問題
近世支那社會經濟史
大雅堂

二月中旬發賣
必勝國民讀本
★決戰の春に贈る大文字★
蘇峰　德富猪一郎著
B6判・二〇八頁　定價五十五錢
每日新聞社

皆勤しよう
胃弱や便秘を治し體力をもっと強く…
病後衰弱に
わかもと
わかもと本舗

ビオカルク
疲勞の回復　抵抗力強化　治癒促進
大日本製藥株式會社

ぜん息・神經痛
高血壓・中風
今津博士の素晴しい研究
不治でない

農業勞力調整
作物別に稼働日數

勞力の給源となつてゐる半島農村は最近鑛工業部門の擴張に伴ひ勞力の供給が增大しつゝある折柄、農産物の増産確保を期して農業生産責任制が實施されたゝめ、農村の勞力不足は不可避となつたかくて農村に於ける勞務調整如何は責任制の達成に重大影響を與へるので、總督府農商局は細密な勞力調査を行ひ、以て十九年度內の農家勞力の過不足は不足を防ぎ過剩に陷ることなからしめることになり今般農商局長通牒をもつて各道に調査要綱を指示した

調査の要領は作物に應じて各面を單位として所在勞力を算出することを第一としてゐるが、その方法は男子十八歲から四十五歲迄の者を十とし、女子を八となし、それ以上、以下は減少する數字を示し、次いで各面の所要勞力を作物別に算出することとし農家勞力月別配分、男女別、年齡別勞力換算、人員勞働賃金等を示したものである

この結果生じた各面別の勞力の過不足は三月末迄に調査を終り四月中に本府に報告、これが數字に從つて本府では各部の各面間に於ける勞力過不足の調整を圖る、男女一年間の稼働日數は三百卅六日とし作物別の年間に要する反當勞力規準は次の通りである(單位名)

水稻十八、陸稻十五、麥類十四、[illegible]

指導農場は八十
東拓の三ケ年計畫

東拓では十九年度を初年度とする[illegible]三ケ年計畫を立案中の所この程成案を得たので十二日原理事は石田、[illegible]擔當理事と打合せの上直ちに實施することになつた、農場經營計畫の重點は全鮮八十農場を指導農場と農業[illegible]は耕地が[illegible]し水利の便の多い稻作を試みんとするもので、[illegible]

日華親善促進の功績者表彰

【南京十一日同盟】[illegible]

軍需・生必關係强化
企業整備協議會開く

[illegible]

必要現金の支給
轉廢業者の生活考慮

[illegible]

ネツツノ敗戰
反樞軸側發表

【リスボン十一日同盟】ネツツノ橋頭堡に對するドイツの强襲[illegible]

週間世界の動き

日獨は『量』の整備
敵は焦慮の虻蜂戰法

この際の敵の出方を見てあると明かに日獨兩軍の勞力をそれぞれ太平洋及び歐羅巴に於て分散せしめようと狙つてゐるやうだ、太平洋方面について見るとラバウルを强襲するかの如く見せてマーシャルを衝き、一方北に大きく東南アジヤ[illegible]

[illegible]

五重點産業に準ず
航空燃料、潤滑油確保

【東京電話】政府は航空機などの[illegible]

アルミナの價格改訂
一月に遡及實施

【東京電話】航空機○倍增産に[illegible]

農業生産責任制　一問一答【三】

問　先頃いはれたやうに地主が指定に協力を要求してくるといふことは、これは『責任制』といふ名前に原因があるのではないか

[illegible]

水組の管理で倍增
中間地主"舍音"の効用

[illegible]

……責任は數より觀念……

……關係相助の觀念……

……數量決定の規準……

……需要量の下に生産……

……食物は全て增産……

血戰錄

[illegible]

"內地は官民あげて增炭"
石田朝炭社長直詣協議より歸城

[illegible]

新無盡社長に谷氏

[illegible]

貨物自動車統制新發足

[illegible]

三陟炭大增産

[illegible]

頭痛に 過勞に
明快な頭腦を保ち
新しい活力の給源

特許 日滿 イデユ
厚生省推奬品
濕布は 濕布劑の最高峯!
移入販賣元 別府イデユ製藥 移入販賣株式會社

決算公告

胃腸を強化し
骨組みを丈夫にする
メバー錠
救心製藥所

しもやけに
研ヒフオール
加藤物産京城支店

仁川醫友會
富平商工會
仁川埠頭局長 田中清次
朝鮮船舶運航
朝鮮食糧營團

オリヂナル クリーム

衛生口錠
健民増産
カオール
安藤井筒堂

ビルマ戰線の實相 陸鷲○○部隊長に聽く
奪回の豪語今は夢
我が進擊に怯える敵敗走陣

【ビルマ○○基地同盟】緊迫したビルマ戰局も俄然儚き夢と消えて我軍一ケ師を今ぞ一擧に殲滅するのだ、これほどの大敗があらうか、十日白晝、陸鷲を率ゐて敗走路を爆擊し文字通りかけがへのない虎の子の師團を撤退して漸々敵陸軍の決定陸軍に追込んだビルマの戰線爆擊隊○○部隊長に聽く「第二のアラカンの悲劇」の實相である

高度○千といへば自動車がマッチ箱くらゐにしか見えぬ、人道の影などはつきり見えるわけはないのだが、それでも○○河を越えると敵らしい氣配が感じられる、畑地にない新設の飛行場、陣地、道路、兵舍、敵地らしいものがあちらこちらに點在、何れもひつそりと靜まり返つてゐた、忽ちこの邊りはとつくに敵が引き下がつた跡なのだ、マユ山系の東にある陸路を北上する自動車群、これは正しく敵と見た、山系橫斷の陸路にもちらほらそれらしきものが僅かに移動する敵の氣配が感じられた、○○に進入直前から猛射した地上火器が盛んに砲擊を開始したが、いづれも遙かの眼下に白煙を散らすのみ、敵意の鋭さも感じられず全面的に敗色が蔽ひきれぬ有樣だつた、○○河の支流に臨む○○は小山に圍まれ樹木に覆はれてゐるが、此處にも又敵がわんさと群めいてゐるのであらう、町のやゝ上流に一千噸級の汽船二隻が白波を立て下航するのがよく見えた、我編隊におびえ切つてゐるのが手にとるやうに眺められた、そして○○附近をさらに北上○キロ地點には意外な流れが漲つてゐるが、それもその筈、何とこれは友軍だつたのだ、行動開始後僅かに一週間、しかも眞正面の敵を取つてこの見事ぶりはどうだ、モンドー沖、テクナー更にナーフ河口にも敗殘敵を待ち五百トン乃至一千トン級五、六隻が往來してゐた、モンドー附近さらに十キロほど南からも無數な白煙が二、三條射ち上げられてゐた、がこれも徒らに自らの焦燥を暴露してゐるに過ぎなかつた、要するに上空で見た戰線は息づまる壓迫感と共に明かりを認めて敗走する敵と堂々進擊する友軍のこの二つの流れがはつきりと看取出來た

狙ひ違はぬ必中彈
忽ち火と吹く敵車輛
ビルマ戰線 空中觀戰記

【ビルマ○○基地十二日同盟】『こいつめ』と戰鬪機隊は猛射しつゝ追つて來た敵ハリケーンがわが機の集中射擊を浴びて次々に落下してゆく、つゞいて一機上方からわが機に、かぶりつくやうに迫つた敵戰鬪機が小賢しくも紅い腹を見せ旋回する瞬間機銃が火を吐いた、わが銃彈は敵機の右翼を吹つ飛ばした、赤い顏をした敵の操縱者が何か精一杯に叫んだと思ふ間に敵機は錐揉み狀態となつて遙かに落下してゆく、激烈な戰鬪であつた、しかもすでに我方は敵戰鬪機三機を擊墜の血祭りにあげ、翼を振つて再び編隊を組み堂々敵陣地目掛けて進攻してゆく、高度○○メートル、マユ山系の分水嶺もすでに眼下に過ぎいよいよ敵陣上空を思ふ存分やれると愛機を決めるとなんともいはれぬ壯快が漲る、○○部落を過ぎて南に走る道路に沿つて南下する、ふと前方に眼を凝らせば長々とつゞく道路上に砂煙をまいて敗走するトラック群がある、それつとばかりレバーを旋回して突つ込んだ、おうおう、ゐるゐる、兵員や物資を滿載したトラックが目標の『よき獲物』と高度をぐつと下げて機銃掃射に入る、敵もわが攻擊に氣付いたらしい、疾走するトラック上に立ち上り手をふり廻して騷いでゐるのが見える、前方は○○メートル先頭を走る敵トラック目掛けて降下する、

二十數名の敗走兵を乘せた車が目の中に飛び込んで來る、隙手をあげて車上に擧ぐ敵に激突すると思ふ瞬間、わが機は巧みに右に旋回して地上を見ると狙ひたがはずトラックに白煙が上つたと見る間に猛然たる火焰に包まれ、續いて再びわが機は攻擊姿勢をとり、この間友軍機は入れ替り立ち替り反復攻擊を繰返してゐる、わが果敢な攻擊に狼狽した敵は僅射して來るものもなく全く混亂に陷つてゐる

炎々と火を吹く車もあれば道路の立木や前の車に激突して擱坐してゐる車もある、敵は全くなすところを知らぬのであらう、道路の兩側に落ち行く車輛もあるよ」と語を繼ぐ部隊長の面には「よし見ろ」と微笑が浮ぶ、かゝる狀態をさらに現出してゐるのだ、敵後攻の呼號もわが奇襲の前には何らなすところを知らず今や第二のアラカンの悲劇は現出されるばかりなのだ「征くぞ」再びわが機は右往左往する敵陣に突つ込んで行く

三人の子供も軍人へ
健氣に語る故山本大佐未亡人

【門司電話】大東亞戰爭一周年記念日の昭和十七年十二月八日南洋ニューギニア島ブナの密林陣地において『われ軍旗に殉ず』と生き殘つた部下に訓示、皇國の防人として散り果てむ野邊に伏しても吾は草むす屍と辭世の一首を殘して壯烈なる戰死を遂げた山本常一大佐は山口縣吉敷郡大内村矢原の出身、山口中學、幼年學校を經て陸士に入學、優秀なる成績で卒業、聯隊本部附となり大東亞戰爭勃發するや比島及び支那作戰に參加した光榮の士であつた、この榮譽を擔ふ敢人部隊長として知られてゐた大佐の留守宅を東京都戶塚町に訪へば未亡人治代さん（三四）はすぐ長男の久芳君（一〇）大塚國民學校二年生、長女和代さん（八）同國民學校一年生、次男康志ちやん（六つ）三男成志ちやん（四つ）の四人の遺兒を手許に呼んで故大佐の靈前にその光榮を報告したのち靜かに語るのだつた

身に餘る光榮に感泣してゐます、之も部下の方々の御蔭に外なりません、主人は近く出陣の際に男の子が三人あるから思ひ殘す事はない、白木の箱で歸國すると申して出て行きました、私は主人の遺志通り三人の子供を軍人として主人の足らぬ分を御奉公し度い念願であります

『最愛のほど名だく有難い限りです、常に作戰が好きで陸士時代にも泣かされたものでした、剛氣な性格の反面に人のことなら自分が犧牲になるたちの子供でした、男の子は軍人にすると口癖のやうにいつてゐましたから子供達が軍人になつた姿を見れば死んでも死にきれないと思つてゐます』

紀元節の獻金

又も我が醫學陣に凱歌
眼球寄生蟲の摘出に成功

【京都電話】世界の奇病である眼球内寄生蟲の摘出手術が京都帝大附屬病院眼科淺山部長の手で見事成功した、奇病の主は關西通信社ハノイ支局勤務中不幸この不可思議な寄生蟲に取りつかれ、右眼が日に日に見えなくなり、佛印各地の病院で診斷、治療を依賴したが、手術の至難なため遂に手の下しやうがなかつたので内地へ歸り去る七日同病院に入院したものである、右につき淺山博士は語る

この寄生蟲は日本では殆ど見かけない有鉤囊蟲で學名をチスチエルクスと呼ばれ世界的に見てもこれまで二十例位を報告されてをり、滿洲、北支で發病したと見受けられたが、佛印では最初である、殊に今回のものは眼球の中で寄生蟲が孵化しだんだん成長しうごめいてゐるのが見えるといふ世界でも類例のないものである、しかも寄生蟲を生きたまゝ巧く摘出したことも今回が初めてゞあるといつてよい、この寄生蟲の原因は生肉、豚肉の生食などの生の食物から來るもので、滿洲、北支、南方各地に行く人は特に注意が必要である、目を失ふばかりでなく腦をもおかされる危險がある

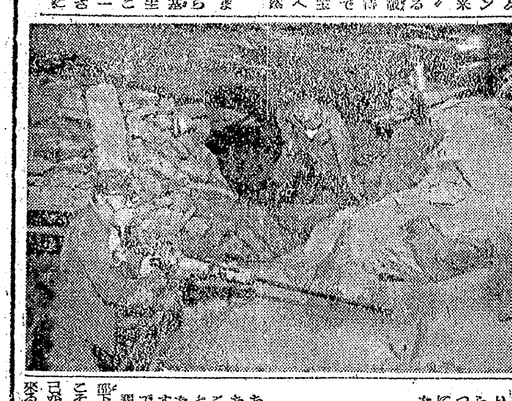
大楠公誕生六百五十年
四月廿五日全國に國民運動

【東京電話】來る四月廿五日は大楠公誕生六百五十年記念日に當るので、大楠公顯彰會では當日大楠公誕生の地大阪府南河内郡赤阪村で盛大な記念大祭を執行する、なほ同會ではこれを契機として全國的に國民決勝魂の昂揚を目指し〝一億楠公化運動〟を展開することゝなり、十二日正午帝國ホテルに同會評議員會を開催して具體的實行計畫を協議の結果、國民運動開始に際し同會々長に阿部信行大將、副會長に後藤文夫氏を推し、大楠公誕生記念日を期して宮城前楠公銅像下及び湊川神社、四條畷神社その他楠公關係地における記念大會、記念祭などを開くことに決定した

戰ふ工場鑛山を訪ねて
勞務管理現地報告 （6）
宛ら山の樂園
坑區對抗で稼働率星取相撲

【忠北月岳鑛山にて溝口特派員】こゝで産出するものは兵器になくてはならぬタングステン、水鉛、蒼鉛でタングステンが最も多く採掘されてゐる、俗に〝はがね〟を鍛つ〝はがね〟の鋼材はこれによつて造られるのだ、今や決戰はこの鋼の消耗戰であり總力の戰である、鋼鐵に於てはたとへ一グラム一トンでも多く…掘進二部制で山は火の玉だ、所長に案内されて坑内見學、一山體を十分餘り歩いて所長室へついた、そこには日本に竊で認められた〝山の殉職者〟の芳名が一基列び壁前には綺麗な松の小枝が生けてある、何か敬虔なものが胸にこみ上げて來るのを感じ作ら私も一禮に心から冥福を祈つた、所長さんは二人の姿を眼に浮べるやうに靜かな口調で話すのである

帽子を脫いで　立ち止まつた所長さんは



坑區に〝殉職〟とはありませんが殉職といふと運ぶのです、といふのは既に仕事を終へた夜の出來事で丁度坑内から出ようとした時思はず發見したのがタングステンの素晴しい〝野立〟だ、二人は飛びつくやうにそこに走り寄ると夢中で岩盤の緩みも知らず鑿を採つた、山の戰士にとつて〝野立〟はたまらない魅力に違ひない、間もなく立つてゐた個所がアツといふ間もなく崩れ落ちると同時に、頭上に岩塊が落ちて來たのです、全く同情すべきことをしました、しかし仕事外とはいへ增産魂に燃え上つてゐたなればこそ不幸だつたのです、私は社則の許す最大の限度で報いてやり殉職者として厚く葬りました

部下に示すこの姿と聞けばあつてこそ不平も不滿もなく山の戰士は己が職場に命を投げ出すことが出來るのだ、鑛山を去る際での因み石を指つてゐる

〝これが比重選鑛です〟所長さんは部下の說明を受けながら說明してくれた、一方の隅では選り出されたタングステンを袋に詰め込んでゐる、一握り摑んで見たが、ずつしり重い、鉛と殆ど同じ位ださうである、山に面した方の天井にベルト、索道線が無數に圍らされ、鑛石が滿ければ山からケーブルで運ばれて來るのだ

みは鑛からきてゐるのだと聞く、間もなく選鑛場の前に出た、細かく打碎かれた鑛石が〝石の山〟のやうに捨てられてゐる

〝これは選鑛滓みのやつです、なかなか美しいでせう、これですと綺麗に輝いてゐるのは〟

〝何んだか勿體ないやうですね〟

坑内に入ると鑛泉風呂の浴場に仕切つたものに溜んだ湧水が満へてあり、鑛夫が丸くて美しいザルに盛つて一杯に鑛石を碎る仕掛けになつてゐるのである、選鑛の湯も普段は冬季には水が凍るためわざく沸かして使つてゐるのである

こゝを出てかなり登つたところパツと眼に廣い山の鑛區が拓けた、其中腹に坑道が三つ四つと口を開いてゐる、其坑道入口で係長さんからカンテラを受け取り山神樣を拜んで入坑する、外よりとても暖かだ、異樣な臭ひが鼻をつく、冬の間は坑内でも

坑夫が多い、トロツコが鑛石を盛んにやつて來たが、我々の前で急に止まり坑夫は激勵し大聲で挨拶して行つた、どの坑夫も皆きうである、其顏色の正しいことは實に立派だ、坑道は岩ばかりでなく上にも下にも掘られてゐる、激しい鑿の音ジャツクハンマーが震狼よりも凄い音を立てて唸つてゐる、カンテラ一つの薄闇の坑内にパツくと消ゆる火花は眼に沁みるやうである

〝ホツ昨日より大分進んだね〟所長さんが岩盤に觸つて嬉しさうに撫でながら先導に言葉をかけると頭部が振り向いた、その顏は玉の汗がテラくと光つてゐる、鑛脈一つない岩の固さ、その紹りにおいて鑛脈でも一寸二寸とれるだけにその努力は他の山の比ではない、このために監督は『我と思はん者は來れ』と坑夫に呼びかけ鑛夫達を探つてやらせたが何れも志を果してしまつたさうだ、そこで現在の鑛成所生の中から

選拔した者に

始めから獨へ込んで眞面目に驅け回つてくれた、それから以後は立派にやり遂げた、それからは所員の熱意が鑛夫の胸を打ち、今ではびつくりするほど活氣に滿ちた坑夫達で、今では所長の顏を見ると〝やつてるなー〟所長さんは手前にかけて見てゐるだけに一入可愛いく見える、私〝一級でも一人でも坑長から飛び出して行つて見せるぞ〟と坑夫は一齊に答へて見せた

前の夢たのも知らず今や鑛山生產擴大へ坑へ込むやうにして必死の努力を續けてゐるので、腹を入るドリルの先端から鑛粉と火花があたりに飛び散る、ダダダ…身體もほぐれるやうな凄まじい振動を受け作ら決してその手を緩めやうとはしないのだ

冬季はどこの鑛山でも鑛夫が減退するのが常である、しかし此處では坑夫の一部の要領を加へつゝある

部月の決議は決して衰へぬ、今こそ鑛產工夫等は仕事に勵まなければならないのだ、こゝでは東西對抗の〝稼働率星取相撲〟が開かれ坑內坑外に張り合ひを付けてゐる、前回の一般勤務者と鑛成所生で組んでゐる、だが二週間ほど前から前の千数十名と坑外が四百名である

〝やつぱり若い人は強いですよ〟だが千秋樂の廿四日には勝つ積りで引き締まつて行く手もありますからね〟

手掛りの鑛藤者には〝鑛冠〟に〝優勝盃〟が授與されることになつてゐる、この結果は鑛冠を豪少數限りに正確な成績表を眺めて見ると鑛成所生の廿三點ほど勝ち越してゐる

〝うんと働いて貰ふ、それには現在の給與にも近く三割引上げやうと思つてゐます、さうして勞働の少ない人にもうんと遊びやうと思ひます〟

〝以前に比べると實によくなりましたね、來たかと思ふとすぐやめるといふ人は殆どなくなりました〟

〝足腰事情はどんなですか〟

〝入所したらなかくく辭めないのが多いので、入所式を作つてゐますが、かうすると頭で直接申し出て來て、以前のこと〟

鑛夫にとつては勿論でせうが、一寸でも早く引き上げられるといふのが理想です、それにはお互ひに溫かい心のこもつた生活をしなければいけないと思ひます〟

入所した人々に山田所長は家族達の心をほんとうによく見たとお聞きします、一人で引受け、それでこそ鑛山との關係が常に緊密であり、この歡迎は勤勞に〝毎月の責任量〟も始めは中々できなかつたが、この頃は勤勞者の奮起でどしどし出來るやうになり鑛員にも喜ばれるのである、今では月々の增產目標を突破してゐるのだ

天晴れ若鷲の殊勳

【ビルマ○○基地にて十二日同盟】敵第七師團を殲滅の包圍網につゞんで各所に戰鬪を展開しつゝあるわが地上部隊に呼應するわが陸鷲の活躍は連日目覺しいものがある、敵上空に羽搏き適切なる爆擊と熾烈なる地上掃射を加へ、雨期を前にした氣象の惡條件を克服して隨所に敢行されわが荒鷲の士氣は天を衝くばかりである、以下はさる五日わが荒鷲がブチドン方面に出擊、敵戰鬪十五機を擊墜するほか敗走する敵地上部隊に低空掃射を加へた戰鬪の一齣である

この日邀擊した敵機十五機をマユ山系に葬り、さらに自動貨車により

敗走

する敵地上部隊を攻擊して赫々たる戰果を擧げたわが新鋭戰鬪機隊は折柄暮色の迫る中を

敵陣

に突込んで機銃彈の雨を浴びせかけた

補助翼で悠々生還
單機よく敵高射砲陣地を潰滅

じめた敵陣地を遂に全滅せしめ歸還の途に着いた時であつた、編隊の後尾に援護を擔當してゐた鍋田伍長（愛知縣出身）は左方眼下の陣地から尚もわが編隊に砲擊を續けてゐる敵高射砲陣地を發見した『生意氣な奴だ』若い少年飛行兵の鍋田伍長の鬪志は燃へ上つた『よし、あれだ』と決心するが早いか鍋田伍長は一擧に敵高射砲陣地目掛けて突込んで行つた、この時已に敵陣地の頭上に達し

擬裝

の陰に隱れてゐた敵陣は一齊に砲門を開いて單機突込んで行く伍長機を目掛けて必死の彈幕を射ち上げて來る、『敵ながら天晴れだ』と伍長が感心するほど敵彈は伍長機の周りに炸裂して來る『同じ死ぬならたまるものか、肉を切らせて骨を斬つてやる』と固く決心した伍長は猛射擊の中へ射込みかゝるやうな彈幕と彈幕の中をぶつかつて行く、既に敵兵の數ははつきり見える二十數名の兵が必死になつて射ち續けてゐる『よしやるぞ』猛然低空に降下し彈丸のやうに敵陣に突込んだ

その瞬間、「やられたか」と伍長が思つた程、伍長機はぐわんと物凄い衝擊を受けた、落ちるかと思はれた愛機は依然飛行を續けてゐる、ふと見ると右翼の中央に直徑一尺もあるかと思はれる大きな穴が開いて補助翼が無慘にもちぎれて垂れ下つてゐる『俺の飛行機を壞すとはひどい奴だ』伍長の怒りはついに爆發した、伍長機が損傷しても必死になつて射ち上げて來た敵高射砲陣地も伍長の右翼に

大穴

をあけたのである、やがてかも伍長はひるむ所か敵陣地の上空で旋回し、やがて愛機の安定を取戾すと同時に思ふ存分攻擊を續け五回、大膽の屈恐に燃える伍長の銃擊の雨は敵高射砲陣地を潰滅しさつたのである、しかも伍長は重い補助翼をぶら下げ實に○○キロに亙る苦心の飛行を續けてある基地○○に歸還したのであつた

亞國に又も大地震

【リスボン十二日同盟】ブエノスアイレス來電＝去る一月十五日の大地震で殆ど全滅したアルゼンチン中西部のサン・ホアン市一帶に、十一日再び相當の激震が起り家屋の倒潰など死傷者を出した、今回の地震はサン・ホアンほか九都市にでも震動が感ぜられた

貯蓄は資金の應召
心配は無用、國民生活
三百六十億の攻略布陣

【東京電話】昭和十九年度の國民貯蓄目標額は三百六十億と十二日發表されたが、この目標達成は容易ではない、それは國民生活の戰ひである、では貯蓄目標の三百六十億を中心に租稅と國民消費資金とを睨合せた來年度の國民生活の在り方はどうか、以下決戰家計の前提となる諸點について氏家大藏省國民貯蓄局長に一問一答を試みよう

【問】貯蓄や租稅の增加に伴ひ國民消費資金は百十五億に切下げられたが、これで國民生活はやつて行けるか

【答】決して心配はないと思ふ、來年度の國民消費資金は百十五億に切下げられたが、實際は百四十億の豫定收入、個人貯蓄、國庫資金などが含まれてゐるから、この外に含まれてゐない生活費が約六十億、この外に國民所得中に含まれてゐない自家消費等を合計すると約二百億となり一人當り約七十億も膨脹した收入もあつて國民の一部にお金を大切にせぬ者もあるやうだが、これがなほ悪性インフレを誘發する最も惡い傾向だから決戰下の家計總量は是非消費資金の計畫に則つて出來る限り淨財は貯蓄に努力してもらひたい、朝鮮、臺灣もひつくるめての平均約八十五圓位になるが、この額は全國すなはち都市、農村あるひは家族なら一月の消費に充てる金は見積ることが出來る、そこで五人家族なら一月の消費に充てる金は約四百圓位となるわけではない、まして必ずしも貯蓄は飢餓に陷れるといふ意味ではなく必要に應じ必要な額であつてそれぞれの生活程度を考へれば多くはないが決して不足とはいへぬと思ふ、現に基準額約二十億の通貨が九十億になり

【問】三百六十億突破のための當局の施策如何

【答】一月下旬に部落はブロック別の内政部長會議を開き三月中旬には第二回貯蓄增強の具體案を決定する、ただ國民に特に注意してもらひたいのは『貯蓄をしてまで貯蓄をする必要はない』といふ考へ方を絕對に捨てねばならぬ點だ、來年度の國民所得額六百億だといつてもこれは貯金してゐて出來るわけではない、まして樂に貯蓄しようとの心構へでは決してこの巨大な目標額は突破し得ない、貯蓄は軍需工場に出征しあるひは銃後工場に勞務を捧げるのと少しも變りはない、貯蓄は銃に、資金の應召なのだ、目標だけの貯蓄額が出來なければ戰爭遂行上由々しき一大事だ、この考へを一億すべての國民がよくわかつて下さることが目標達成上の最上策と信ずる

きつと討つこの仇
敵潜艦の暴虐 憤る現地の少年達

【印度洋○○基地十二日同盟】去る一月六日印度洋の○○島と○○島を繋ぐ僅か○○トンの連絡船が敵潛水艦に攻擊され乘客の現地人男女子多數に死傷者を出したが鬼畜にも劣る敵潛はやつと救助した現地人少年少女を殘虐にも機銃掃射する暴擧を敢てした事實が○○島に報告され全島民は擧げて米英鬼畜の激しい憤りに燃え皇軍への協力を誓ひ合つてゐる、以下は救はれた少年少女の悲憤の體驗談である

シヤリフ（一三）僕のお父さんは○○島の郵便局長です、お父さんとお母さんと僕の四人で○○島に行くため僕はお母さんと船に乘りました、○○を出て一時間ほどのところに潛望鏡が突然見えました、何だらうと思つてゐると○○島の前方五十メートルのところに砲彈が落ちて來ました、爆發はしなかつたが其時僕らの船は突嗟に左に舵をとつて潛水艦に向つて機銃を射ちながら突進したのです、すると敵潛水艦は急に右に旋回して今度は僕らの船の右側に來て大砲を射ちました、三發目の彈が命中して船はたちまち沈み、救助のボートが下されてお母さんや子供達はそれに乘り船の兵隊さんや船員は海に飛込んだのですが、この時またも敵の大砲は艇首目掛けて射つて來ました、はつと思ふ間に僕達のボートは大砲の水煙の陰に沈んでしまひました、兵隊さんの首にはタムリンが掛つて泳いでゐるのです、そのうち他の兵隊さんがドラム罐や板を浮ばせてこちらに來てくれた、僕のお母さんはその板に掴つてスペテとともに泳いでゐたのですが、バラバラと機銃の彈が落ち僕は恐ろしくて水に顏を伏せたのです、顏を上げるとお母さんは板に掴つてはゐなかつた、スペテもゐない、僕は『お母さん』くと聲を限りに叫びました、すると日本の兵隊さんが僕をしつかり抱きしめて『元氣を出せ』といつてくれたさうです、それから間もなく救助船が來て僕は助かつたのですが、これは全く日本の兵隊さんのお蔭です、弟のダリンデンもほかの兵隊さんに助けられたけれどもお母さんもスペテももう生きてゐません、あの機銃の射擊さへなかつたらお母さんも生きてゐたらうにと思ふと本當に憎い米英です、僕はお母さんの仇はきつととります

ズロイデ　私は日本の兵隊さんに抱かれて助かりました、私達が敵潛水艦から機銃を射ち出されて沈みかけた時、日本の兵隊さんが泳いで來て私を抱かれて泳いでゐたのです、兵隊さんの左には友達のスライデさんが抱かれてゐる、そして敵を見てゐて潛水艦がすぐ近くに來て機銃を射つた時々兵隊さんが私達を抱いて潛りました、日本の兵隊さんがゐなかつたら私達は死んでゐたのです

天晴れ女判任官
遞信局で卅八名を任命

女性の職場進出を強調すると共に八名の女性が堂々轡を並べて判任官になつた、遞信局では十二日三千餘名の女從業員から稀な優秀者を選拔し判任官待遇の女子遞信書記を任用した、これで百五十餘名の女判任官が出來たわけだが今後も女子の職場進出に伴ひひとしく女子の登用を行ふ

神戸で電車顚覆

【神戸電話】十二日午前十一時五十分ごろ神有電鐵の有馬行二輛連結電車が北新開驛を發車して間もなくホームに突入した刹那、後部車輛が突然脫線、ホームに激突して顚覆、死者十四名、負傷者六十名を出した

浴場經營懇談會

龍山署では浴場經營懇談會を十二日午前十一時から同署で開き、警察部長、衞生課長ほか關係者十六名列席して燃料を初め資材入手難の折柄、入浴を通じての厚生事業の觀念を圖る諸問題について官民隔意なき懇談をとげ午後一時散會した

一特火點

☆……初代池田局長から卅數年もつゞいた遞信局長が十二日元の人事係と文書係の部屋に移轉した

☆……京南の南側に局長と遞信局長椅子を並べ二人天下で睨み合ふ所をかした遞信局長と遞信局の局長室にて人が立ちん棒といふ際どい形でとつて加へて附議は余計な場所を占めてゐた、局長室が小さくなつた局長室が、やつと局長らしくなつたといふもの

國防獻金
（十一日扱）

本社寄託獻金

恤兵金

飛行機獻納基金

決戰美術展覽會

陸軍記念日を機として美術家の總力を結集し、戰力を顯揚、敢鬪精神の昂揚に資すべく廣く一般より作品を募集す

會期　三月十日より廿四日まで
會場　總督府美術館
作品搬入日　三月五、六日（午前十時より午後五時迄）
作品募集規程　イ、題材　國民士氣、戰力增強に資するもの
ロ、畫面制限　一人三點以内、西洋畫五十號以下とし日本畫、彫塑もこれに準ず

一、表彰　審査の結果、成績優秀と認められたるものには賞狀及び賞金を授與す
主催　京城日報社
後援　朝鮮軍報道部、朝鮮總督府情報課、國民總力朝鮮聯盟、朝鮮美術家協會
一、規程及び申込書は照會に應じて本人宛送付す
一、展覽會事務所　京城府中區太平通一丁目京城日報社企劃部内

朝顔は京都が日本一 （廣告）

忠 最上醬油 ウユチジフ

放送レコード 明時堂

結核病專門 厚生醫院

證券報國 勝つ爲だ! 貯蓄も銃後もなし 男女老幼一億戰士 秋田證券 京城府中區明治町二丁目 電話代表本局②五一五五番

巨鯨傳 燦然！朝鮮映畫の歷史を飾る海洋活劇 方漢駿演出・佃順脚本 廿四日より 白系封切 朝鮮映畫配給 朝鮮映畫製作株式會社
金一影 徐月影 金漢 獨銀麟 金一海 李源鎔 薬田麟 田澤二 朱仁奎 信英一 李錦龍 金素英 金信哉

貸借對照表 （昭和十八年十二月三十一日現在）株式會社 大石組

姜耳鼻科

細田プリント社

朝日性病科

紙屑 古文書 古帳簿 島紙源 小坂八郎

耳病にミミ丸

漢陽醫院 醫學博士 李鎬臨 耳鼻咽喉 電光1088

性病・泌尿科

金浦内兒科 特設夜間性病科

復權許可公告

寫眞技師入用 大邱府東城町 獨立軒寫眞館

ゼット洗顏クリーム ゼット粉白粉

女子從事員募集 京城地方交通局

交通局員募集 朝鮮總督府交通局

謹謝出火御見舞 昭和十九年二月十三日 朝鮮工營株式會社

女性にエス球 一日二球

集 三井鑛山勞務者 京城職業紹介所

募 生徒募集 昭和工科學校

陸鷲の兄に負けず闘ふ
本町の名花二輪"糸屋の姉妹"

はたらく女性 ⑩

働け、働け、理窟なしに働くことだ、女性が街頭に進出するのは最後の手段であつて家庭をガッチリ守り抜くこと、餘剰の時間をもつ間は戰時物資の家内工業も大いに結構、身を粉にして前線に續へるこれ以外にはない

陸軍中尉の兄は"陸鷲"として北支に或は南溟の空に

雄飛轉戰する こと前後五年間、この間女學校を出たばかりの姉とその妹は

『兄さんにばかり御苦勞掛けては相濟みません、二人で家庭をがつちり守つて少しでもお役に立ちませうね……』と堅く誓ひ合つて五年間"働く人々"の隊列を彩つて咲く名花二輪

府中區本町二ノ二三林三三子さん（二〇）同千代子さん（一八）の姉妹は父親林次郎氏の營む糸屋の店舗を一手に引受けて奮闘してゐる、糸物手藝品の店頭といふものは忙しいものだ

その店先で客捌きも鮮かな"糸屋の娘さん"姉妹の働を見てハッと感じた、三三子さん（第一高女出身）は日婦會員が志願した海軍武官府勤勞奉仕隊に應じて窓口の受付にゐたのだ、道理で何だか見たやうである

千代子さん（徽文高女出身）は某在郷女塾に通ひつゝ兵隊さんの慰問袋製作に毎日

居殘りの勤勞 を續け、家路に急ぐ足どりも輕く宅では皇軍女店員に早變りする

若い姉妹にとつて全く錬成の明け暮れである、二人の働きの原動力ともなつた兄の林陸軍中尉も無事轉進して今滿洲で銃後の奉公に勵んでゐる

『まだ／＼私達の働きでは足りませんわ……』

と今度は町會に働きかけて救恤用三角巾五百枚を引受けてゐる、父親は長い間消防團で活動を怠らない

『お國に盡す爲なら家庭工業品でも何んでも持込んでミシンと勵きますわ…』

姉妹の意氣は益々凝しい、この愛しみに溢つた

一家總動員の 氣概の中にこそ働く花はすく／＼と成育する【寫眞＝店頭の林姉妹】

踏出す"明朗生活"
町會を一元的に改正

とかく物議をかもし勝ちな町會、愛國班、配給や不公平な町會費の取立て、數多い寄附の強要等々町會に對する苦情も多いが、現在の銃後生活において町會の存在は一日も缺くことの出來ない重要性を加味しつゝあつたが、この程町會の一元的な改正が成つた、從來恣意に流れてゐた各町會事務取扱に對し十二日京城府では『町會區務規定準則並に町會一般事務取扱要綱』を決定發表し、即日實施したが、決戰第三年に入つて、こゝに町會組織は強力なる末端行政としての基礎を確立し、明朗な銃後生活の確立を目指して新たなる發足を行つた譯である

今回の劃期的町會改正案は町會區務規定、町會豫算の編成執行決算、町會簿取扱、家庭用物資配給取扱等原則的四項目に分たれてをり

區務規定では町會文書の取扱からその編纂に保存、役員、事務員の服務等を規定し、決戰に卽した事務の簡略化とくにその事務は時局に應じ適正を要求し事務上の責任も問ふてゐて

町會職員の出退勤は出勤簿に捺印をする、町會豫算の編成についても從來區々であつた町會費の各個人に對する賦課額は戶別割により均衡を持たしめ寄附的行爲は之を禁ぜられ又町會事務に關して町民から名目の如何に拘らず手數料又は之に類する金員は一切受けとれぬことになり町會役員等に對する手當、旅費、交際費等給付金と認められるものゝ計上は禁ぜられてゐる又各種團體その他からの寄附金又は助成金等の要請に應ずる場合は區長の承認を得ることゝなつた、また町會で扱ふ金錢に對しては速かに處理する

次に町總代であるが、之は統制物資の配給等に關して必要があつたため從來とも各町會に備へ附けてはゐたが、更にこの町總代を町政運營の基本にすべくこれを整備し町內人口の動態、建築物の點から人口の稠密狀態、各班の生活狀態も絕えず調査をなし物資配給、町會費、獻金の割當基礎に處するもので、毎年末の人口調査の際は申告票と町總代を對照する、最後に一般家庭用物資配給取扱であるが町會、組長、愛國班長は各自配給臺帳を備へ、受け渡しの印を確實にし、配給品の割當に當つては遲滯なく之を行ふ、配給については公平、適正を期し、物資不足の際は順次之を行ふ、割當方法は人員割、戶數割、その他內鮮又は生活樣式による需要を考察し適正を期す、なほ愛國班長は組長に、組長は總代に每日又は臨時に配給臺帳の檢印を受ける、總代、組長等は、配給に遺憾なきかを常に檢討し需給關係を圓滑ならしむ樣努力する町會、組長、愛國班長の物資配給台帳は町民の閲覽に應ずると、なほ當局よりの配給品の外勝手に各種生產者、販賣業者の需託を受け町會、愛國班へ配給をなし統制經濟を紊す如きことは固く禁じられてゐる

總力運動の强化
府內の各町會役員集め錬成

國民運動の末端機關としての町會の事務は戰局の進展と共に愈々多事多端となり、一方その使命はますく加重の度を增すが、眞に强力にして適格なる總力運動の展開は町會役員の頭を先づ高度に切替へるにありと府聯盟は十五、六の兩日に亘り府內二八三の各町會から役員二名宛を選拔、二班に分けて、一日間府遞信事業會館で錬成會を開催する

受講者は午前九時半までに集合同十時から開講式、同十時半から『國民總力運動について』と題して總力聯盟錬成部長大家虎之助氏の講義、午後一時から同二時まで本府編輯課長富山民藏氏の『國體の本義』に關して、同二時半から同四時まで府聯盟常務理事奧山仙三氏の『決戰下の常會運營について』と題してそれぐ講義がある

理髮業者打合會 龍山署では十三日午前十時から管內

總てお國のため
少國民は努めよう
京城公立中學校長　岩村俊雄

戰ふ家庭

決戰はいよく苛烈となつて皇國の興廢を決すべき重大時局となり、一億一心火の丸となつて醜米英の擊滅に向つて邁進すべきである、今こそは前線も銃後もその區別はない、國民ことごとくが職場を守るか否かが、大東亞十億の安危を左右するのである

この時に當つて近く國民學校を卒業する多くの少國民諸君は、或はたゞちに實務に就く者あり、或は進んで上級學校に入る者もあるべきだが、その何れにもせよ、自分の出世のためといふ個人主義的な考へを捨てて、眞に國家のために身命を捧げて盡忠報國する鐵石のやうな堅い決意を必要とするのである

上級學校に入學することを立身出世の唯一の道と考へて、爭つて進學したのは昔の考へで、今後學校教育そのものが實務の練習であり、自分のためといふ考へ方を捨てゝ一に國家のため、必勝のために教育を受けるのである、そしてすべてが米英の擊滅に集中せられるのである

中等學校でも、途中から少年兵として多數入營する者があり、陸海軍の學校に入るものもあり、更に最も實務に即應するの勤務もあり、修練もあり、長期の勤務もあり、學校は決して實社會から隔つて、學校教育そのものが實務そのものでなく全く實務そのものであるべきである

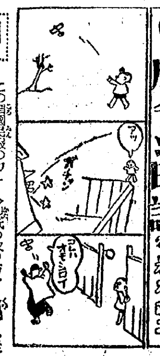
かう考へると、國民學校を卒業してたゞちに實務に就くものと中等學校に進むものと、その間に今は昔のやうな差別はないのであるより進むもお國のため、米英擊滅のために身命を捧げて敢闘すると覺悟すべき中等學校入學者も學校に於て實務によつて心身を鍛へへ心得べきで何れもやがては戰士として敢闘すべきである、國民學校を卒業する諸君は、今は實務も學校もその間に昔のやうな差別のなくなつたわけをよく辨へて、何れいふはつきりした堅い決意を示されたいのである

紅白の餅

紀元節の拜賀式を終へ街を歩いてゐると、國民學校兒童の一團に逢つた、どの顔もニコニコとして手に持つた紙包を見せ合つては嬉しさうに語り合つてゐる、それは今日の式典のお祝ひとして學校から頂いた紅白の餅であつた、ただそれだけの場面であるが、强い感動を受けて目がしらが熱くなつた

その時つくぐ感じたことは、皇國に生を享けた有難さである、職烈を極める決戰下にこのやうな當局の暖かい眼ひやりは、いかに世の中を明るくするかは言ふまでもないことである

勝チャン日記 20



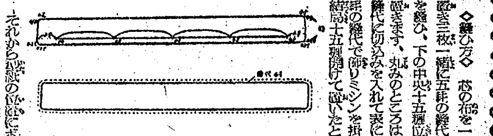
國民服カラー
手輕な作り方

この程國民服のカラーがちよつと手に入りにくゝなつて參りまして、どなたもお困りのやうでありますが、有合せの布地で家庭で簡單に出來るカラーのつくり方を次にのべてみませう

◇型紙の取り方◇ 首廻りを三十八糎（十五インチ）を標準寸法として圖の如く取ります

◇裁ち方◇ 布地はキヤラコ、其の他丈夫さうな白い布（ワイシャツの古布など）なら何でもよいのです、布を一度水に浸して充分縮めて置いてから、表二枚、芯一枚を裁ちます、……は縫切線です

◇縫ひ方◇ 芯の布を一番上に置き三枚一緒に五粍の縫代で周圍を縫ひ、下の中央十五糎を開けて置きます、丸みのところは細かく縫代に切込みを入れて表に返し二粍の縫代で飾りミシンを掛けます、縫目十五糎開けて置いたところはそれから裏の位置にボタン穴位の丸い穴を開けて周圍にボタン穴を閉ぢます、ボタン穴は直徑五粍をして落着をしアイロンで仕上げます（京城洋裁女學・嶋本節子）



家庭問答

問　自宅で出來る醬油の手輕な消毒法はないものでせうか（內需町・淺川生）

答　家庭ではちよつとやりにくいかも知れませんが、ホルマリン消毒に限ります、ホルマリン液を蒸發させながらその蒸氣をゴム袋で密封して醬油を容れて密封した罐內に充滿させ、十時間位おいておくとよいのです。日光消毒は期待が少く、風通しのよい所に陰干にした方が簡易な消毒法と云へませう（總督府醫院・鶴田醫學博士）

府營市場入荷狀況（二月十二日）

品名	入荷數量	百匁小賣値
大根	二、三三九貫	六錢九厘
白菜	五五七九	九錢
ほうれん草	一四七	一八
ネギ	三七五	一〇
蕪	一〇二	八
新菊	三六	四二
林檎	三、七四二	二一
夏蜜柑	四、九二九	一三錢五厘

敵都を衝くの意氣
きのふ戰ふ教育者戰意昂揚大會

京畿道教育會は十二、十三の兩日道內各學校教育關係者代表約千七百名參集、米英擊滅教育昂揚錬成道教育者大會を開催、大いに敵愾心を振起すると共に米英擊滅の誓ひを新たにし、一億陣頭に立つて特別體制の勝利へ皇國教育の當面する緊急施策の根本である教育の普及徹底に關し、盡忠報公延身するの決意を固めた

即ち第一日の十二日は午前八時代表者全員は朝鮮神宮に參拜の後、第一會場（第一高女）第二會場（南大門國民校）第三會場（京中）に參集、同十時より大會を開いた各會場は國民儀禮に引續き必勝祈願の默禱の後、瀬戸京畿道知事の訓示があり大會に移つたが、第一會場の南大門國民學校

二部教育部會

京城府では十四日午前十時から府敎育部會に第二部敎育部會を開催し、教育部會に提出すべき議案に對し協議する

生產增强教育を中心とした實際的研究發表があり更に生活の最高能率を期する方策、社會國家施設の補強的協力狀況等の研究問題について實際應答、當局よりの指示等をなし、第一會場の第一高女では約三百五十名の教職員が第三會場の京中では約二百餘名の教職員が剣道、武道、銃劍道の實演を行ひ必勝の決戰第三年目の決意を新たに午後五時第一日目の日程を終了した【寫眞＝同大會】

永勤警察官 晴れの表彰

紀元節に龍山理髮組合幹部約廿名を招き時局認識强化打合會を開催する

鍾路署では紀元節の拜賀式を十一日朝九時半から訓示室で擧行、次いで永年勤續者並に一ケ年間の成績優秀者の表彰式を行つた、まづ十年間一日も曠勤なく雨も休暇も無く自發的に返上して滅私奉公した川島順文巡査部長を表彰、なほ同夫人紫順さんに鍬、鋤、ネル、化粧品などの賞品を授與してその內助の功を賞した、次いで五年以上勤續者十二名の夫妻に金一封と賞品、また一ケ年成績優秀者十一名に金一封を贈與した、同日の受賞者氏名は左の通り

【永年勤續者】九年＝松本猛、三神孫之助▲八年＝新居浦繁▲七年＝富田勳、金澤弘、松田富平▲五年＝新田正、川本榮樹、長門利男、高松節教、舞原安久

【成績優秀者】荏原稔告＝金光正吉、福井金一郎、清水義雄、湖田秀雄、鐘田勝榮、木下麗七▲犯罪捜査＝米原秋夫、双岡度八郎、金光正吉、神林合照、宮本武雄

◇—◇

東大門署は十一日一ケ年以上勤續の警察官廿九名に賞品を授與一月の成績優良者十一名に對し金一封を贈りその勞をねぎらつた

【當勤】外勤＝金岡達義巡査ほか十八名▲內勤＝本田慶吉刑事ほか十九名【一月の成績による優良警察官】犯罪檢擧＝山田新八、前岡正次、鐵田修吉▲注意報告＝越智淳、金原正夫、大森正人▲善行者＝張田實、清水浦昌原陳雄、山田新八、坂江滋

永勤消防官を表彰

戰時下、消防官の重責は愈々大なるものがあるが、京城消防署では

知れ徵兵の眞意
中區で兵事指導員の打合會

『お母さん方よ、半島青年の徵兵に對して充分に御理解下さい』と十二日午後一時から府內中區町會に米倉町々會事務所で中區町會兵事指導員打合會を開催、區長、戶籍職員、防衞團兵事係長以下五十四町會兵事指導員出席して壯丁名簿整理、壯丁の教導、父兄母姉の指導ほか六件を懇談應答があつて同五時閉會した

京城神社へ 一萬圓寄進

府內本町三丁目鐵砲業長波多江千代藏氏は京城神社御造營費として金一萬圓を十一日紀元の佳節に仲宮司へ寄進した

紀元節の十一日、その內助の功績の顯著な消防官夫人に左の無休日無缺勤奬勵者七十六名を表彰した

金光正明、德山吉彥、新井榮一、神山隆雄、金光永三郎、宮本正治、市村五市、金山元太郎、柳川昇、岩根竹、和田豐、伊東敬秀、秋山文雄、清水四郞、新本時正、岡甕哉、中村勝彥、星山公雄、河村照常、青原良一、安田光成、金大南、梧村相湖、國本勤助、金川權錫、廣田保、國元秀雄、瀬野孝千代、政岑雄、青本富光、加藤茂一、金本秀晴、松原泰一郎、平田濟信、揚田輔、荒谷義雄、大崎茂、丹山辰雄、長谷榮雄、甲岡銀次、柳村道浩、林俊隆、沼部長、田代部長、和田豐、國山元雄、和原政文、松本哲郎、竹島章、崔本聖吉、劉基浩、國本邦雄、本山雅雄、振星、本町千代吉、矢吹保俊、村淸連、三澤貞松、井上清水戶頃美、岩村龍、鈴木浩誠、玉川泰夫、井村敏俊、谷本秀吉、田村鍛錬、宗山昌鍚、丹本三俊、大島榮錫、宮原大林、金山洙福、國島茂

總督府圖書館閲覽者

總督府圖書館一月の閲覽狀況は次の通りである

閲覽人員一萬二千八百五十一人、一日平均四百二十八人強、前年同月比一萬五百人の減少、閲覽圖書の種類は依然として第一位が語學、文學で總閲覽人員に對する二割四分弱、次が理學、醫學で約二割四分、工業、政治、經濟、敎育、歷史、地理學等の順、要求された圖書はタゴール『讃歌集』（山室靜譯）、若き科學者の手記（米山經論訳）、源氏物語（谷崎潤一郎譯）、（平岡雅英著）、（大槻憲二著）世界の哲學、（佐々木隆彦著）室中戰（淸水董吉著）

盲啞生の赤誠

濟生院盲啞部五年金城元濟、河村武夫、平沼勝雪の三君は十二日本社を訪れ烈々たる胸中を吐露するにも言ひ得ない心境を

『これは冬休み中に寒い中を僅かな金額です、憎い米英をやつつけるための飛行機獻納の一部にお加へ下さい』と認めた文面に託して各自醵出した十一圓八十錢を飛行機獻納基金として寄託した

寄附

龍山區漢江町一二三の勝田仁助氏は何にか町內のためにご寄付しようと考へ、この程町會を訪れ

『これは僅かですが何か有益なことに使つて下さい』と金壹千圓を寄附した

◇—◇

京城府岡元町四丁目の龍山松木商店店主鄭大鎬氏も貧しい生活をしてゐる人達に温かい心をよせこの龍山舟手町會と元町第一町會に金一封を寄附し皆を感激させてゐる

論文通過

旭醫專病理學教室吉山隆俊氏は京都帝大醫學部に提出中の"未梢性細胞に非生理的物質に於ける外皮細胞の抗織的反應に關する研究"並に副論文『クロロホルム』後及び化粧『エナルモン』の影響に就て"の學位論文が通過した

本町署でタイピスト募集

女子の勝場進出に期待されるを本町署保安課衛生係では女子タイピスト一名を採用することとなつた、希望者は同署へ申込みされたい

初午の甘酒

千人針

『兵隊さん、甘酒を召上り下さい……』参詣の兵隊さんは相好を崩して『いやとうも、御馳走さま』

境內の篝火に焚けられた大釜から湯氣もうと立ち上る甘酒を湯飲茶碗で飲みおかはりしてゴクリゴクリ……十二日は『初午』京城神社のお稲荷さんでは參詣者に混れなく慰問の甘酒を振舞しました、米を炊くも始めに決意する參男女は引きも切らず參拜後は必ず一杯を頂いて『ワーム、この元氣で銃後の增產に一路に張りませう』と大喜び【寫眞＝甘酒の接待】

ラジオ 13日

第一放送 朝

▲六・三〇（嚴）▲六・三〇國民保健體操 ▲七・〇〇報道 ▲今日のお知らせ▲七・〇〇報道、國民の時間 ▲九・〇〇（大）少國民の時間『少國民の日本』▲九・四五今週の讀物『シタキリスズメ』▲一〇・〇〇週間經濟▲一一・四五講演園藝 ▲〇・二〇管絃樂▲『防人に寄す』2『敵は殲滅』3『南進日本』▲一・〇〇放送劇

夜 ▲六・〇〇少國民の時間シンフォン劇『少年防諜隊』

第二放送 朝 ▲六・五〇（威）尺八合奏▲六・五〇世界一週 節季2若松、朝鮮▲七・〇〇世界の展望、醫學博士松田政人講演▲八・〇〇國民二浪花節▲九・〇〇國民の歷史小山源吾

夜 ▲六・五〇國民歌謠『椰子の實』2白すみれ3、愛國の花▲七・二〇報兵をつくる家庭教育、軍神『加藤少佐』▲八・〇〇（講）苦への朗2勞務3乏しい空、國民歌、時局解説▲九・〇〇（東）朗讀〔作品〕〔第一話〕聽外作々木…

椰子（169）
疲勞の町（三）
海野十三（作）　村上松次郎（繪）

曾根は、香港の川田加太郎を訪ねて彼を探してゐたのである。加太郎は、この土地の勝手に暗い川田加太郎のことで、彼は危險な場所へ迷ひ込んで誰にも知られずに非常の最期を遂げたこととも思へた。失跡して以來、もう一ケ月の餘になることでもあり、もう諦めてゐたのだ。

そこへひよつくり加太郎が戾つてきた。嫁め曾根は、自分がどうかして幽靈を見てゐるのではないかと思つたが、よく見ると加太郎は幽靈どころか痩せてゐるが、顏色もよいらしく疲れてもゐなかつた。

『どこへいつてゐたんだ、君は……』

と訊くと、

『はあ、それは南村さんのことですか、さつき申上げましたとほり』

加太郎は、まだ南村の名を一度も喋つたことがないのに、彼はそれを前に喋つたやうに話した。曾根はそのことに氣がついて苦しくふるはせ、

『南村さんと、君は今いつたが』

と訊ねた。南村北島のことならば彼は十日ほど前に、當分消息不明になるといひ置き決然と旅行に出かけてしまつて、今日に至るもその姿は見えない。

『いや、さうぢやありません、私はそのことを申上げたのではなかつたのです、南村さんのことで』

『あなたもう、さうだらうと思ふが、一應どこへ行つてたんだ』

『へい、そのわけは非國さんの前でなければ申せません、どうぞよろしく許してください』

と、加太郎は例の弱々たる口調でいつた。

『ふうん、さうかね。おれは信用できるのでおれの前でも喋れんといふのか』

曾根は、つひにむかくとして加太郎を睨みつけていつた。

『いえ、さうぢやありません。必ずそうしようと……つまり非國さんと曾根さんが揃つたところで』

『さうです。南村北島さんです。實は南村さんに助けてもらつたのです。本當に夢のやうな氣がしました』

と、加太郎はしんみりと述懐した。曾根は加太郎の述懐を聞いては默つてをられなかつた。

『南村北島といつたね。その南村君は、今どこにゐるのか。そしてどうしてゐるのか。早く話したまへ』

と、加太郎の腕をつかんで搖すぶつた。

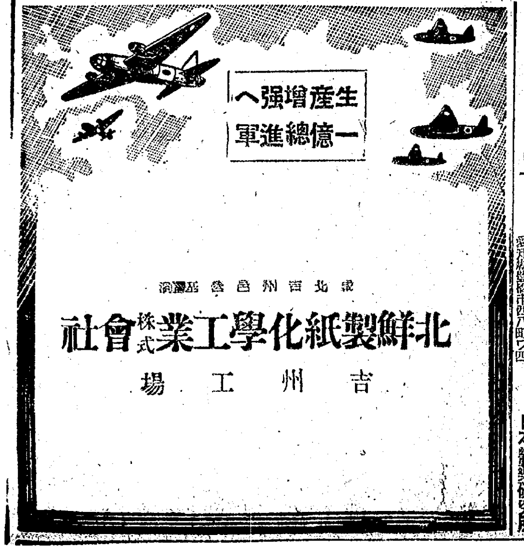
痔と凍傷に
（藥劑師）の外用 カミツクス
痔疾・凍傷・皮膚病に 全國藥店にあり
（本舖）山製藥

京日案內 料金（前金）

女中 子守少女一名 本三ホテル
事務 商店事務に經驗のある方
女店員 女中 求婚 求賣地 電話交換台を求む 女店員及給仕採用 筆耕 府外貸工場 求夫 ピアノ讓る 求む机、椅子 讓るコロンビア蓄音機 醫院 看護婦 小型ドリル求む 軍裝 女中入用 女中
女中採用 女子事務員採用 國際電氣通信 讓工場 女子事務員採用 男女事務員タイピスト採用 女子店員採用
大工 警察 女子事務員 賣地 醫師 女店 事務

科 內 京城府通義町 醫學博士 朴容海 電話光三〇六二
特許商標 松宮特許事務所 辨理士 松宮臣重
看護婦 ピアノ 京城府本町
科 齒 京城橋南町 院長 松本親明
科 吳一承外科醫院 京城府仁寺町 電話光化門六〇三
空荷馬車多數あり 御利用の方は
タイピスト 旭タイピスト
科 齒 醫學博士 新井明鎭
引越荷造の 丸二組
女子事務員採用 求貸工場 社員募集 朝鮮燃燒士器 三越女店員募集 三越 電話交換手採用 女子事務員採用 沖電氣株式會社 女子工員募集 朝鮮武田藥品 女子事務員採用 理研護謨 科 朴容海

東洋劇場 星群
大陸劇場 日本ニュース 私達の戰ひ 韋駄天街道
第一劇場 演劇號公演
京日文化劇場 ラバウルの血闘（日本ニュース特輯）
中央劇場 私たちの戰ひ 日本ニュース 韋駄天街道
城寶 朝鮮ニュース 文化映畫 韋駄天街道
京劇 日本ニュース 相撲 おもちやの科學
喜樂館 日本ニュース 平手造酒 文化映畫 シュヴァリエの流激
明治座 十日より
若草劇 十日より
朝日座 鹿島秀月 球地加澤子 浪曲青年歌劇
浪花館 日本ニュース 幼き林 赤尾の大將 海翼藏軍
和信映畫館 日本ニュース 森ノ野球團 中古の御生涯
新富座 放送演奏 日本ニュース 男
城南劇場 唄祭り喧嘩横丁
桃花劇場 新生廣東 サヨンの鐘 日本ニュース

生產增强へ 一億總進軍
北鮮製紙化學工業株式會社 吉州工場
北鮮吉州郡吉州邑

小兒科 醫學博士 朴容來 院通門化光重廣 ③2156
公示催告
毛深
醫學博士 美乾夏內科 京城府壽町 電話光③三五六一番
公社債 債券 賣買
除權判決
金山府海雲台 溫泉館 內湯 旅館 海雲閣 旧名ホテル
實鍊商標登錄 專賣特許出願 鈴江特許事務所
諸ナノはれもの痕ナク治ス 町田製藥所
決戰！ 捨身の敵闘に この体力！ この氣力！ 六一ハロープ
わきが 療法進呈 自宅新 無代
ぜんそく 根切り藥 無料進呈 藥王園 聽松閣
東京藥局 都藥房
討つぞ必ず 玉碎の仇
裸の教科書 赤垣源藏
14日より 霧立のぼる 佐伯秀男 大川平八郎 澤村國太郎 志村喬 大倉文男 松浦芳枝
城南映畫劇場